

中国 香港特别行政区 UWC 香港校 荒木 さん

留学期間 H3 0.9～R2.5

1 留学の成果

香港の国際学校、Li Po Chun United World College of Hong Kong への留学が、2020 年 5 月 23 日をもって修了いたしました。この 2 年間、身に余るほどのご支援をいただき、誠にありがとうございます。出発当初は、「こんな田舎の薄っぺらい人間が UWC に行って合格できるのだろうか？」と非常に不安になり、言語の壁や価値観の違いに遭遇してストレスを感じたこともありました。しかし、言語に悩んだ 1 学期、成績に悩んだ 2 学期を経て、3 学期は勉強、課外活動、趣味を両立できた時期になったと思っています。

4 学期は、1 月中旬から猛威を振るい始めた新型コロナウイルスの影響で、授業は最初の三週間で終了、それに続いて Project week (一週間の修学旅行のようなもの)、そして最終試験が中止となりました。最終試験で最後の足掻きをして、目標の成績 40 点台 (45 点満点) を取ることを目指していた私には、及第点とはいえ、まだ伸び代があった 3 学期の Predicted Grade (予測成績) とほぼ変わらない成績になってしまったという結果はとても悲しく、思いの残る形となってしまいました。

思えば、香港での生活は驚きの連続でした。これからますますグローバル化していく世界に対応できるような人間になりたいと目標を立てて留学した UWC 校はまさに「世界の縮図」でした。聞いたこともないような国から来た生徒や、2 年間学校へ行けずに自宅学習をしながらも好成績を残した生徒、学校での課程を修了したら国に戻って兵役に就かなければいけない生徒などがおり、その多様性を目の前にして感じる「世界の広さ」は、決して日本の高校では体験することは叶いません。この経験は、将来グローバルな社会に出た時に、コミュニケーション能力や多様な意見を取り入れる上で役に立つ大きな武器になると確信しています。

これからは、私はもちろん、昨年 UWC アルメニア校に見事に入学を果たした指岡君をはじめとする他の留学生たちとともに、福井県の高校生の留学への関心を更に高めていかなければならないと考えています。この記事を読んでいただいた中高生のみなさん、みなさんは自分が思っている以上に海外で学ぶ素質を十分に持っています。どうか、「私なんか無理だよ。」「自分はこのままでいいんだ。」などと決めつけずに、一度じっくりと海外留学について考えてみてはいかがでしょうか。時にあなたを圧倒し、時にあなたを幸せにし、時にあなたを悩ませ、そして、必ず忘れられない良い思い出となる「世界を見た経験」が、将来きっとあなた自身を成長させてくれるはずです。

2 履修状況、課外活動等

(1) 履修科目

- ・ School-Supported Self-Taught Japanese A SL
- ・ English B HL

- Mandarin ab initio
- Economics HL
- Chemistry HL
- Mathematics SL

(2) 課外活動および受賞歴等

- Ensemble QC
- ICYCLE QC
- Ultimate Frisbee

3 今後の活動予定

現在、カナダや香港の大学から内定をいただきましたが、新型コロナウイルスの感染拡大の状況下でもありますので、1年間、自分の将来についてゆっくり考えたいと思います。

4 記録写真



ICYCLE QC の写真です。中国の小学校の生徒を相手に、中国語と英語を駆使して簡単な英単語を教えるというものでした。香港人の生徒と組んで、簡単なプレゼンテーションを通して行いました。

学校の音楽系イベント「music night」演奏後の記念写真です。最終的には、これが最初で最後の演奏となりましたが、完成度も高く非常に良いコミュニティーへの貢献となりました。



学校のイベントで行った香港大学構内の写真です。デモの跡や大学の歴史がそこかしこに現れており、学生以外にも人気の名所となっています。ここでは、香港大学の学生から、香港がなぜ自由を求めて政治に過敏になっているのかを教わりました。



